

市政調査会(各区調査)報告

市政調査会では、広大な市域を有する奥州市の均衡ある発展を推進するため、各区の問題点を明確化させるとともに、議会としての共通認識のもとに、その解決に向けた方向性を導き出すことを目的に、5つのグループに分かれ、各区の状況を調査、検討することになりました。

具体的な内容は？

- ①各区の施設の視察
- ②各総合支所の行政執行状況について
- ③公共的団体との意見交換会

☆グループ編成 ◎グループ長 ○副グループ長

A【教 育 系】	◎佐藤 克夫○三宅 正克・千葉 正文・小野寺 重・藤田 慶則
	亀梨 恒男・千田美津子・廣野 雅昭・渡辺 忠
B【総 務 系】	◎渡辺 明美○内田 和良・菅原 明・及川 俊行・千葉 悟郎
	及川 梅男・小沢 昌記・数江與志元
C【福 祉 系】	◎関 笙子○石川 和好・佐々木國男・佐藤 邦夫・菅野 市夫
	佐藤 修孝・安部 皓三・高橋 瑞男
D【産 業 系】	◎佐藤 建樹○中西 秀俊・菅原 哲・郷右近 浩・菅原今朝男
	菊池 嘉穂・安倍 静夫・小野 幸宣
E【建設・まちづくり系】	◎高橋 勝司○今野 裕文・阿部加代子・中澤 俊明・佐藤 絢哉
	遠藤 敏・新田 久治・及川 善男

A グループ IN 前沢区

公共施設視察状況

教育系

- 赤生津小学校
- 前沢中学校
- 岩手県立前沢養護学校

平成9年建築された赤生津小学校65人、一人一人が主役として活躍できる素晴らしさを感じました。

前沢中学校総工費26億円。白亜の校舎、自主・誠実・健康を目標に先生・生徒の一体感が見られました。前沢養護学校は定員120名に、188名が在学、今後更に増えると聞きました。

行政執行状況等説明及び懇談会

小学校統合は、子供の減少、施設の老朽化により前沢区最大の懸案事項でありました。一定の方向性が出されたが、白山小学校はかなり傷んでおり、一日も早い実現を切望されました。幼稚園も老朽化により補修しながら利用している状況です。出来るだけ早く整備をしなければならぬ。民間で施設を受けても良いとの観測もあり、民間がやるなら国の補助率も変わってくる。他地区への影響もあり、慎重に検討していくと説明されています。

公共的団体等との懇談会

子供達は国道4号線を横断し通学している。通学路整備、特に歩道の設置を早く進めてほしい。スポ少は30団体750名が加入している。小学校が1校になった場合、地域に根ざした活動であったものが、どのようになるか今後の活動の場にも不安を抱いている。

子育て相談室の沼井さんは予約がいっぱいで充分な対応ができないと言う。個別相談、施設訪問、先生の相談を受けたり、心理的な話をしたり、合併し、この先どうなるか心配している。保育所、幼稚園にもカウンセラーがほしい、本当に支援が必要なのはその前の段階と訴えております。



県立前沢養護学校での調査

B グループ IN 胆沢区

公共施設視察状況

総務系

- 達者の里：保険、福祉、医療の総合拠点として区民にサービスを総合的に提供する一元化された理想の施設である。
- 若柳小学校：水と緑を生かした教育環境の中で、木を生かした温もりと希望がおどる楽しい学校づくりを感じた。
- 胆江広域浄水場：20年度の暫定給水を目指し第1期工事が進められていた。

胆沢ダムの建設に伴う国道397号線の移設により石刈簡易水道の配水管布設替工事、平成20年までに5箇所ある簡易水道を統合し上水道にする予定、ダムの上流、下流(70ha)あわせて環境整備が課題である。

ゴミ問題については週1回のところも2回の回収にしたいと考えている。又、防災対策については自主防衛施策を立ち上げたいと考えている。保健福祉の分野においては婦人相談員の確立をはかり、まごころ病院を地域医療の拠点として充実していきたい。子育て支援対策については幼稚園の延長保育を促進し、小学生は児童館にはいることにより待機児童の改善を図って行く。

公共的団体等との懇談会

行政区域長：49名の行政区域長がいる中で世帯数のバランスが悪く(5倍差)再編が必要である。各種活動のご案内が多く芳志が大変である。報酬を上げて欲しい。

○納税組合長：納税組合法が変わったことにより組織が20%減となった。あわせて前納奨励金がなく早期納税の意識も薄れてきた。納税組合法の規定だけにしづらいので奥州市として完納対策の取り組みが大切ではないか。

○消防団長：合併後研修会、幹部研修等の補助金がなく自己負担が増え活動が厳しくなった。消防団は平成21年に再編される予定であるが各消防団の意識、士気等の相違がありレベルアップが必要である。

○胆沢女性の会：合併後補助金が減られ運営が難しくなってきたというが提言していける組織、行政から頼りにされる団体として活動をしていきたい。